

堂谷津の里 自然だより

2021年 5月

2021. 5. 5

爽やかな5月、堂谷津の里に元気な子どもたちの声が戻ってきました。コロナ対策をとりながらの田植えですが、田にそっと足を入れ、どろんこの感触を楽しんでいました。野草や木の花、虫やカエル、鳥たち・いつもながらの里山の春、リフレッシュに最高です。

木漏れ日の 雑木林の 中で



キンラン



ササバギンラン



ナルコユリ



ワニグチソウ



フタリシズカ



ハンショウツル



クサナギオゴケ



ヤマタツナミソウ

明るい林の 縁や草原 で



ウマノアシガタ



ミツバツチグリ



コメツブツメクサ



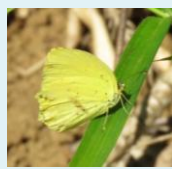
オオジシバリ



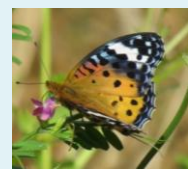
コウソリナ



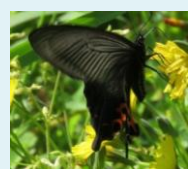
モンシロチョウ



キタキチョウ



ツマグロヒョウモン



クロアゲハ



キタテハ

チョウもトンボ も春を満喫!



シオカラトンボ



シオヤトンボ



ヤマサナエ



ニホンカワトンボ

<季節メモ> サルトリイバラ

サルも引っ掛かるといふ鋭い刺があるサルトリイバラ。耳慣れない植物名ですね。丸みある大きい葉は、ルリタテハという蝶の幼虫が大好き。「子どもの日」と言えば、柏の葉に包まれた柏餅、西日本では、この葉に挟むと言う。「かしわ」は食べ物を蒸す時に使う大きな葉の総称らしい。北総の郷土料理「ばらっぱまんじゅう」は、この葉を敷いた蒸し器で饅頭を蒸す。

別名サンキライ、漢字で「山帰来」、病で山に捨てられた人がこの根を食べ元気になるという話がある。虫にも人にも有用な植物ですね。



写真・編集：晝間